

調査位置図

11月調査結果

ウミヒルモ類・リュウキュウズタの生育状況

調査範囲: 50m × 50m
調査時期: 平成17年11月

調査地点	全体被度	オオウミヒルモ	トゲウミヒルモ	ホソウミヒルモ	ウミヒルモ	リュウキュウズタ	底質 (%)						実測水深 (m)	
	生育被度 (%) 生育面積 (㎡)	生育被度 (%) 生育面積 (㎡)	生育被度 (%) 生育面積 (㎡)	生育被度 (%) 生育面積 (㎡)	生育被度 (%) 生育面積 (㎡)	生育被度 (%) 生育面積 (㎡)	砂	泥	砂泥	礫	転石	岩盤		
St.1	< 5% 2000㎡			1~5% 1000㎡	< 1% 1000㎡	< 1% 50㎡			100					6.1
St.2	1~5% 1000㎡	1~5% 1000㎡		< 1% 50㎡	< 1% 100㎡		95			5	+			6.4
St.3	< 1% 50㎡	< 1% 50㎡					90			5	5			5.5
St.4	1~5% 1500㎡			1~5% 1500㎡	< 1% 1㎡	< 1% 1㎡			100					13.0
St.5	< 5% 1000㎡	< 1% 10㎡		< 5% 1000㎡	< 1% 10㎡	< 1% 1㎡			100					5.1
St.6	< 1% 1000㎡	< 1% 1000㎡		< 1% 100㎡		< 1% 1㎡			100					17.3
St.7	1~5% 1000㎡	< 1% 20㎡		1~5% 1000㎡		< 1% 25㎡			100					12.0
St.8	< 1% 25㎡	< 1% 25㎡					95				+	+		8.5
St.9	1~5% 2000㎡	1~5% 2000㎡		< 1% 25㎡					100					17.6
St.10	1~5% 1250㎡	1~5% 1250㎡		< 1% 50㎡					100					17.5

ニライカナイゴウナの出現個体数

	泡瀬地区										津堅島地区		
	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6	St.8	St.9	St.10	St.11	St.12	St.13	
ニライカナイゴウナ	5	1	3	12	2	1	1	49	6	0	1	5	

オサガニヤドリガイの出現個体数

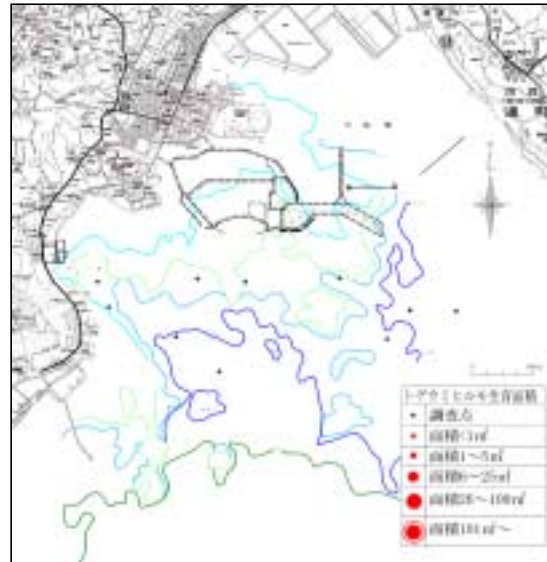
	泡瀬地区					勝連地区	
	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6	St.7
オサガニヤドリガイ	9	284	84	111	113	27	35

オキナワヤワラガニの出現個体数

	個体数
St.A (仮設橋梁付近)	161
St.B	228



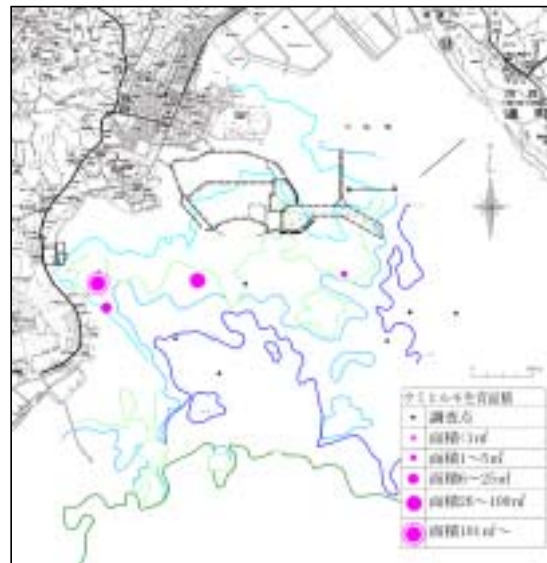
オオウミヒルモ



トゲウミヒルモ

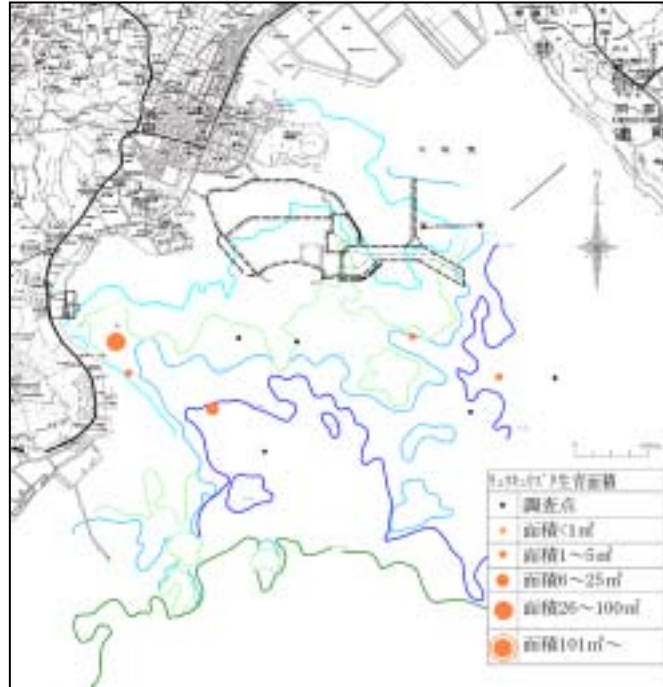


ホソウミヒルモ

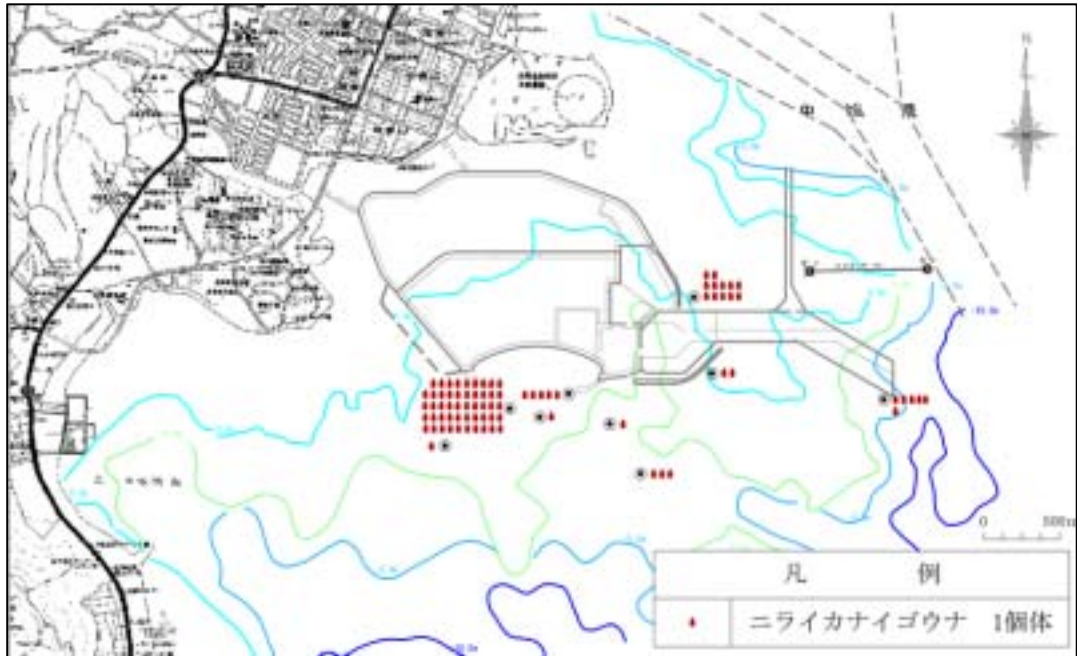


ウミヒルモ

ウミヒルモ類の生育状況（11月調査結果）



リュウキュウズタの生育状況 (11月調査結果)



ニライカナイゴウナの出現状況（11月調査結果）

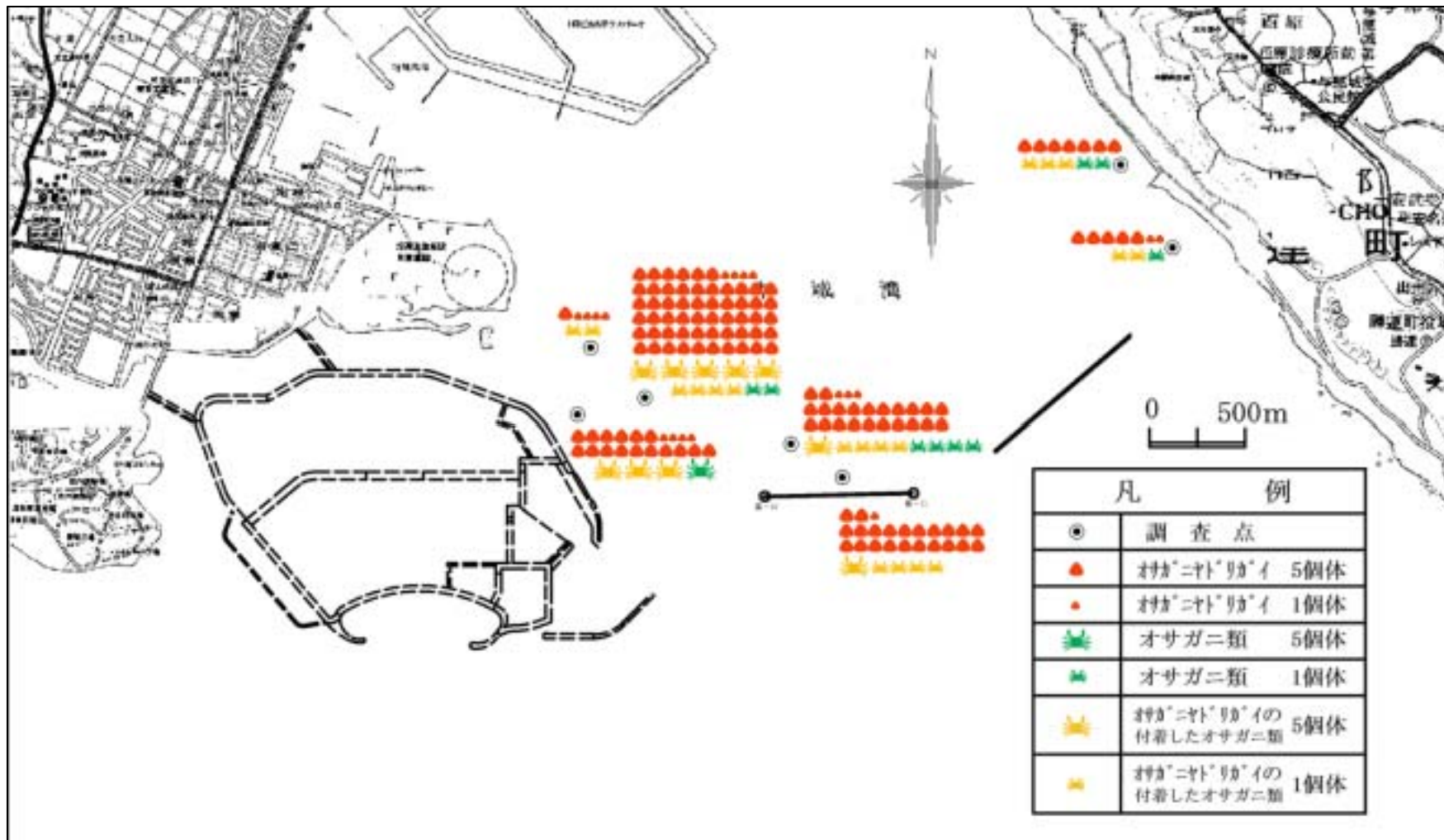


図3 オサガニヤドリガイの分布状況（平成17年11月調査）

オキナワヤワラガニ監視調査結果

調査日時

A地点：平成 17 年 11 月 12 日（気温：25.5 、天候：曇）

B地点：平成 17 年 11 月 13 日（気温：25.9 、天候：曇り後雨）

間隙水分析結果

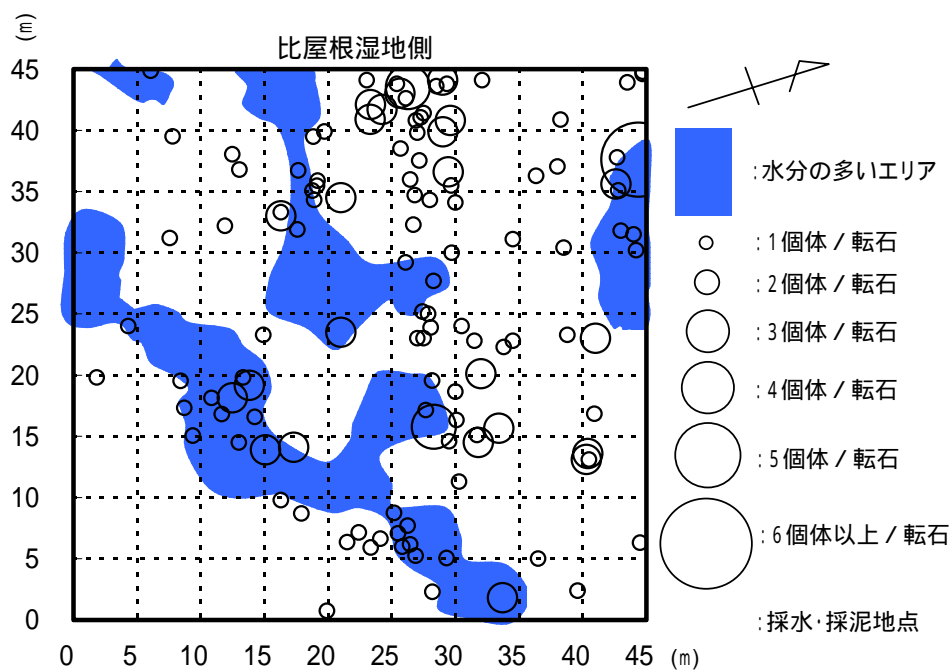
調査点	調査日	水温 ()	pH (-)	塩分 (-)	DO (mg/L)	CODMn ろ過なし (mg/L)
St.A	H17.11.12	25.4	7.9	33.4	0.8	6.7
St.B	H17.11.13	25.0	8.8	8.52	9.4	6.2

底質分析結果

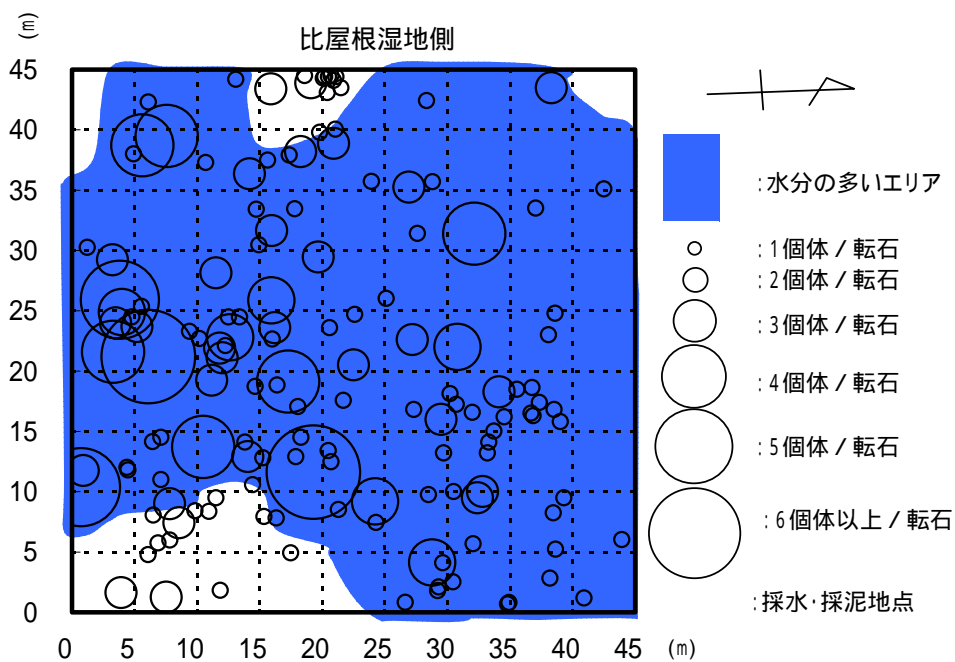
調査点	調査日	色相	臭気	ORP (mV)	酸化層厚 (cm)	硫化物 (mgS/g)	CODsed (mgO/g)
St. A	H17.11.12	灰	硫化水素臭	89	2.0	0.07	1.5
St. B	H17.11.13	灰黒	硫化水素臭	136	2.0	0.09	1.7

調査点	粒度組成 (%)								地盤材料 の分類名
	粗礫分	中礫分	細礫分	粗砂分	中砂分	細砂分	シルト分	粘土分	
St. A	0.0	3.5	1.8	9.4	51.5	31.5	2.0	0.2	均等粒土の砂礫
St. B	0.0	9.8	3.6	10.7	51.3	22.4	2.0	0.3	均等粒土の砂礫

オキナワヤワラガニ生息状況



St.A分布状況(H17年11月)



St.B分布状況(H17年11月)